

稲作だより

第 12 号
刈取推進編

令和4年9月6日発行
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト
最上地域本部
最上総合支庁農業技術普及課
Tel 29-1329（稲作担当）

今年は刈取適期が短い！

適期内に収穫を終えられるよう準備を！！

出穂期以降日照が少なく推移し、登熟が緩慢となっています(図)。

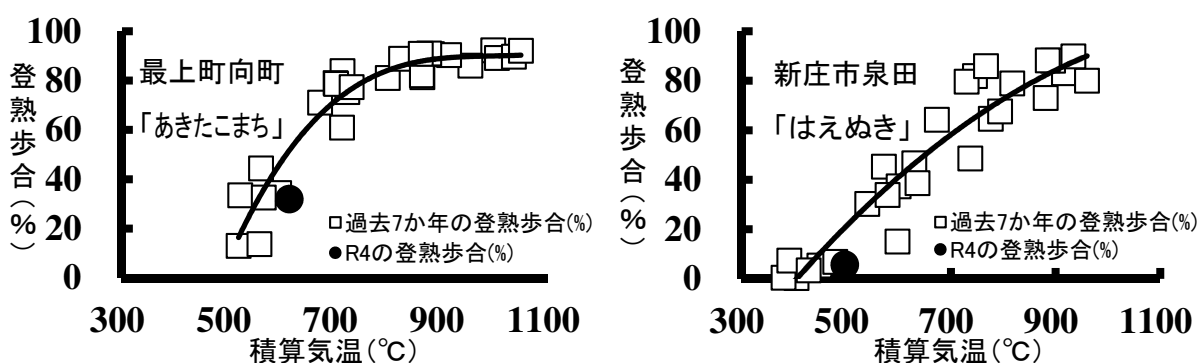


図 8月30日の登熟調査結果

日照不足の年は出穂後積算日照時間 180 時間が刈取り開始の目安となります。しかし晩限は通常年と変わらないため、刈取適期は短くなると推測されます(裏面参照)。

表の刈取適期の目安を参考に、適期内刈取りを行えるように準備を進めましょう。適期が近付いたら圃場で青籾歩合や籾水分を確認し、総合的に刈取時期を判断しましょう。

表 積算気温・日照を考慮した品種別刈取適期の目安

地帯	品種名	出穂期	刈取適期の目安		青籾歩合 (%)	籾水分 (%)
			始期	晩限		
平坦	ヒメノモチ	8/1	9/11←	→9/15	-	25 以下
	ひとめぼれ	8/9	9/21←	→9/29	15	
	はえぬき	8/9	9/29←	→10/5	20	
	雪若丸				15~20	
	つや姫	8/15	10/3←	→10/16	15	
コシヒカリ						
中山間	ヒメノモチ	8/3	9/16←	→9/20	-	
	あきたこまち	8/5	9/18←	→9/25	15	
	はえぬき	8/11	9/28←	→10/12	20	
雪若丸	15~20					
山間	あきたこまち	8/10	10/4←	→10/8	15	

今年は同じ品種・地域でも圃場により登熟状況にバラつきが見られます。

青籾歩合、籾水分が目安の値になっているかを確認してから、刈取りを行いましょう。

※適期の目安は出穂後積算気温の範囲内かつ出穂後積算日照時間 180 時間以上を満たす期間

ただし、ヒメノモチ、ひとめぼれ、中山間あきたこまちは出穂後積算気温のみで判定

※平坦は新庄、中山間は向町、山間は肘折のアメダスデータによる(9/4 までは本年実況値、以降は平年値を使用)

※各圃場の生育や今後の気象経過により適期は変動するため注意

